

ダイヤデータの構造は以下の仕様になっています。

行程, 車両, 前駅発車時刻, 吉鶴駅発車時刻, SL向き

使用できる文字はすべて半角の数字・空白・カンマだけです。1行ずつ改行してください。

各項目間は必ず1つのカンマで区切ってください、カンマは省略できません。

最大行数は99行までです(最終データ込み100行まで)。最終データは必須です。

データ名は、半角・全角可、拡張子は .txt 、文字コードはUTF-8、改行コードはLF

として下さい。行程の前後には空白文字は付けないで下さい。

【各項目の説明】

項目名	指定文字	説明
行程	1, 3, 4, 2, 7, 注 9	1: 折り返し列車 青竜池方→吉鶴→青竜池方 3: 始発列車 吉鶴→青竜池方 4: 終着列車 青竜池方→吉鶴 2: 折り返しDL入替貨物列車のみ 7: 折り返し区間運転貨物列車のみ (通常貨物列車は行程1を使用) 9: 最終データ 最終行には必ず指定してください。
車両	数字	前駅出発・初期配置時点での車両画像を指定します。 列車種別はこの車両指定と関連付けされています。 牽引列車・貨物列車は、行程3, 4は指定できません。 詳細は 列車編成表マニュアル をご覧ください。
前駅発車時刻	0~59	前駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程3(始発)は、0とします。 重要 各行は前駅発時刻の昇順に並べてください。
吉鶴駅 発車時刻	0~59	吉鶴駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程4(終着)は、0とします。 折返しに必要な時間は電車・プッシュプルは 1分以上 、旅客 牽引列車は 5分(転車必要+2分)以上 、通常貨物列車は 5 分以上 を見込んでください。
SL向き	0, 1	SL単機牽引(車両 5161、5162)の場合、出発時の牽引方 向を指示します。0: 正方向牽引 1: 逆方向牽引 SL単機牽引以外は、0としてください。

【注意事項】

数字入力注意

全ての数字には**前ゼロは付けないで下さい**、**誤動作の原因**となります。

出発間隔、駅間運転時間について

前駅ー吉鶴間の運転時間は2分です。前駅出発間隔は**2分以上**の時間を開けてください。

吉鶴駅出発は1分で続行可能です。

データの並び順

データは**前駅発車時刻が昇順**になる様に順序を確認して記述してください。

データの最後には最終データを記述してください。

始発・終着列車

始発・終着列車はそれぞれ**2列車**が設定可能です。始発列車は留置1・留置2の順で配置されます。牽引列車・貨物列車は指定できません。

牽引列車向き

牽引列車は本線上での推進運転は出来ません。

SL単機牽引列車の注意

SL単機牽引列車(5161、5162)は、**同時に2列車以上レイアウト上に存在しない様**に設定してください。

【データ作成からプレイまで】

① エディターやメモ帳などでダイヤを入力します。

PC等で入力してスマホへコピーする場合、文字コードはUTF-8、改行コードはLFである事を確認してください。

② アプリを起動して、サブメニューを開き、[ダイヤ読込]ボタンをタップします。

③ データ選択メニューが開きますので使用するダイヤを選択してください。

アプリでのデータ読み込み時のチェックは上記仕様の一部でチェックを省略しています。

チェックOKでも正常に動かない場合は、項目間の組み合わせを確認してください。

エラーが分からない時や、正常に動かない時は作成されたデータを添付していただき、

foxworks@haruki-kb.com まで送っていただければお調べ致します。